

楽しい仲間たち

光友ヴィクトリー



北筑後大会優勝を果たし、8月8日から始まる四国しまなみ少年野球大会を目前にした原典之監督を訪ねました。監督は光友ヴィクトリー34年のうち30年以上に亘り熱血指導。その間九州大会制覇、全国大会出場などで輝かしい成績を残している。

又一つ勲章が加わりましたね。

「現在部員は28名、チームは投手を中心とした守り勝つ野球が特徴です。」

クラブの指導方針は？

「勝つことだけが目標ではなく、野球を通して①何事にも全力で取り組む人に②自分に負けない人に③他人の痛み

のわかる人に育てることです。平成17年には甲子園に卒部生が出場し後輩に夢と

希望を与えてくれました。」

監督の考える少年野球とは？

「野球を通して勝負の厳しさを学ぶと共に切磋琢磨し成長していく。そして常に全国大会出場を目指す。高い目標を持ち続けなければ成長はしません。近年、子どもの個性を尊重し、勝ち負けや他との比較を避ける傾向も感じますが、ヴィクトリーの卒部生は普段学ぶことのできない勝負の厳しさや連帯感を身につけて遅く社会に翔いてくれることを期待しています。」

ありがとうございます。四国での健闘を祈っています。

コーチ 原敏博、井上義弘・高山慎太郎

私の行きつけのお店

ある時はお見合いの場に、ある時はデートの場に、ある時は子どもの予防接種や検診の後の若いお母さん達のおしゃべりの場として、更に青年団や消防団の行事の後に、60代以上の人なら色んな思い出の中にこの店が登場すると思います。昭和27年創業以来58年、レストラン亀ノ井は八女の文化の一翼を担ってきました。

「私が修業をして父の店に帰ったのが昭和46年でした。当時は近くに京座という映画館がありました。夏には商店街が夜市の出し物を競い、八女公園では婦人会の盆踊り、初秋の燈籠人形は一大イベントでした。私は厨房の技術は外で学びましたが経営のイロハは全て父から学びました。今も大切にしていることは毎日来てもらっても苦にならない価格設定です。だからといって食べ物は安全安心が最優先、食材は決して落すことはできません。ここに手をついたら味が変わり、結果としてお客さんの信用を失うことになります。この教えを頑固に守ってきたことが今迄お客様にご愛顧頂いているのでしょうか。」オーナーの松崎光孝（62歳）さんは控えめに話されます。カツカレーにAランチ、当時と変わらぬメニュー、変わらぬ味が皆さんの青春時代を呼びおこしてくれるはずです。



2階には洋食の店には珍しく30人は座れる座敷も備えている。レトロな玄関、店内にさりげなく飾られた年代ものの書画骨董が店の品格と歴史を物語っている。

レストラン亀ノ井

八女市本町
☎ 0943-22-2424

夏真っ盛り！蝉の声がいやが上にも暑さを盛り上げてくれます。そこで少しでも涼しく過ごしたいあなたに心と体を癒やしてくれる“イ

☎ 0943-47-2055

※途中、おしゃんの店、まんどきそばの店などがありますので行き帰りにお立ち寄りください。



夏を癒やす花発見!!

ワタバコ”の群生地を紹介します。

爽やかな花色にひとときの暑さを忘れてみませんか。見頃は7月下旬から8月上旬までです。

場所：八女市矢部村北矢部4014番地（神の窟）「八女津媛神社」境内周辺
交通：堀川バス／石川内バス停下車1.3km
周辺の施設：八女津媛浮立館・柚のふるさと文化館（旧矢部中学校）

八女の宝物

八女市の知の殿堂、八女市立図書館は、この本館と旧5町村にある5つの分館からなっています。又黒木と星野に移動図書館を持っていきます。蔵書は本館86,000冊、5分館で62,000冊です。

この図書館の蔵書の特長は？

かつて八女郡役所が旧福島町に置かれていた関係で八女郡図書館がここ福島町にありました。その後変遷を経て、八女郡図書館の資料等は八女市立図書館が引き継ぎました。従って明治、大正、昭和の戦前、戦後の行政資料はここにまとまって保管されています。又よその図書館が廃棄するような文学全集等もかなり持っていますので他の図書館から貸し出しの依頼があります。

現在の利用状況は？

5月は利用者約5,000人、貸出数約22,000冊でした。もつと図書館を利用して頂くために今後も色々な企画を計画しますので広報の図書館だよりをご覧ください。現在市で運行している福祉バスやデマンドバス等も利用されると便利です。

市民からリクエストの多い話題の本も多数揃えたいのですがどうしてもお待たせしています。図書館は知識の宝庫。人生は一度限りですが本を読むことで色んな人の生き方に触れることができます。龍馬が駆けつけた維新前夜にも、戦国武将が智略を尽くした戦国時代にもタイムスリップできるし、世界一周のバリーチャル体験もできます。お金をかけずに自分の人生をより豊



かなものにしてくれる図書館にお出かけ下さい。

（館長・堤諭吉）

☎ 0943-22-2504
開館 火～日

眩き

時間よ止まれ

毎朝牛乳を宅配されていた牛乳店のご主人が急逝された。長い間ありがとうございました。合掌。勤勉実直そうな方であつた。たまに顔を合わせる「ご苦労様です」「お早うございます」と簡単な挨拶を交わす程度だった。いつか時間のある時にゆつくり話せばよか。これからは時間はいくらでもある。二人の時間は永遠に続くものと錯覚していた。いつまでもあると思うな時と親である。そういえば六月初めには刎頸の友を無くした。二月に最愛の奥さんに先立れ、ずい分と力を落して

いることは承知していた。いつか励ましに行こうと思いつつ、つい先延ばししていた。迂闊だった。甘かった。生前あんなに親しくしていたのに、長く苦しむ友に対して何の力にもなれなかった。友達甲斐の無い奴と自分を責めた。一期一会の教えがある。今日の出会いが生涯二度とない出会い、一期はただ一度の人生。いつ誰に対しても実意をもって尽くさなければ後悔する。今朝も新聞を取った帰りに牛乳箱を開けてみる。失って知る、無くしたものの大きさ、ありがたさである。（はるお）

